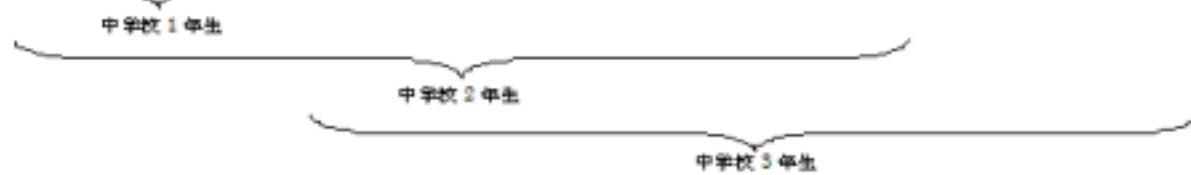


④長期的な学力評価計画：中学校社会科（イメージ）

※「社会的な思考・判断・表現」の観点に対応して、長期的ルーブリックを用いている。

（西岡加名恵「学力評価計画に対応するポートフォリオの活用」『指導と評価』2010年10月号、p.10）

観点	評価方法	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
社会的な事象への関心・意欲・態度	パフォーマンス課題	[略]				
社会的な思考・判断・表現	パフォーマンス課題 （社会的な事象に関する論説文）	社会的な事象について、政治・経済・文化・人口・地形などの構成要素から事実を述べることはできる。しかし、事実を断片的に羅列しているだけであり、主張と根拠を結びつけることに困難が見られる。基本的な資料の読み取りや作成に困難をきたしている。	社会的な事象について、政治・経済・文化・人口・地形などの構成要素から何らかの根拠に基づき主張を行うことができる。しかし、捉えられている因果関係は、表層的で単純なものにとどまる。基本的な資料を読み取ったり作成したりすることはできる。	社会的な事象について、政治・経済・文化・人口・地形などの構成要素から2つ以上の視点をもつことができる。これらの視点に関連づけつつ分析し、具体的な根拠をあげて明確な主張を述べることができる。複数の資料を関連づけながら論述を行うことができる。	社会的な事象について、政治・経済・文化・人口・地形などの構成要素から2つ以上の視点をもつことができる。これらの視点を経合的に関連付けて分析し、具体的で詳細な根拠をあげて説得力のある主張を組み立てることができる。主張に適した多様な資料を複数関連づけて論述している。	社会的な事象について、政治・経済・文化・人口・地形などの構成要素から3つ以上の視点をもつことができる。これらの視点を経合的に関連付けて多角的に分析し、最適で詳細かつ具体的な根拠をあげて、非常に説得力のある主張を組み立てることができる。最適な資料を複数選択し、多角的に関連づけつつ論述している。
資料活用 of 技能	実技テスト 筆記テスト	3年間で身につけるべき技能を0～20%習得している。	3年間で身につけるべき技能を20～40%習得している。	3年間で身につけるべき技能を40～60%習得している。	3年間で身につけるべき技能を60～80%習得している。	3年間で身につけるべき技能を80～100%習得している。
社会的な事象についての知識・理解	筆記テスト	3年間で身につけるべき知識・概念を0～20%習得している。	3年間で身につけるべき知識・概念を20～40%習得している。	3年間で身につけるべき知識・概念を40～60%習得している。	3年間で身につけるべき知識・概念を60～80%習得している。	3年間で身につけるべき知識・概念を80～100%習得している。



対応するチェックリストを用意する。